

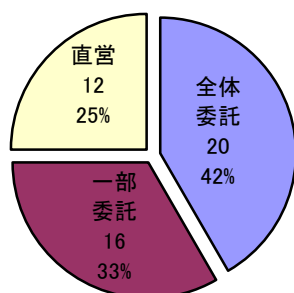
# 栄養管理報告書集計結果(病院)

## I 施設状況

### 1 施設数

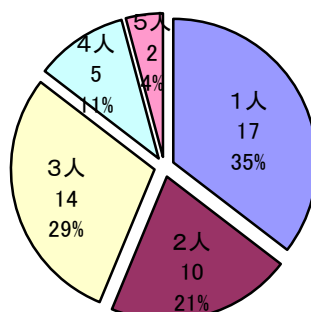
県全体	新川	中部	高岡	砺波
48	12	3	19	14

### 2 運営状況



### 3 施設に所属する管理栄養士・栄養士数\*

\*「管理栄養士+栄養士」の数  
委託業者所属の数は含まない。



## II 運営状況・栄養管理状況

### 1 診療報酬の状況

図1－入院時食事療養について

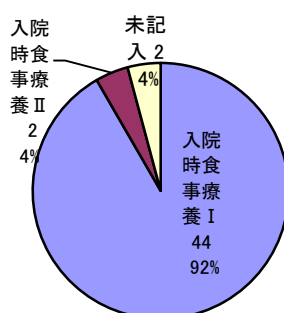
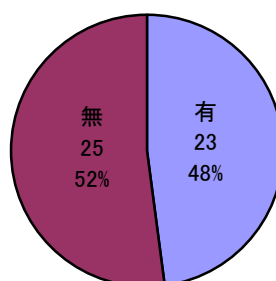


図2－栄養サポートチームの有無



- ・入院時食事療養Ⅰの施設は、全体の92%であった。
- ・栄養ケア・マネジメントは100%の病院で実施されていた。
- ・栄養サポートチームを「有」と回答した施設は48% (23施設) で、そのうち加算「有」は17% (4施設) であった。

### 2 栄養管理等状況 (常食等一般食より算出したもの)

図3－野菜量 (g)

※数値は実施(提供)量

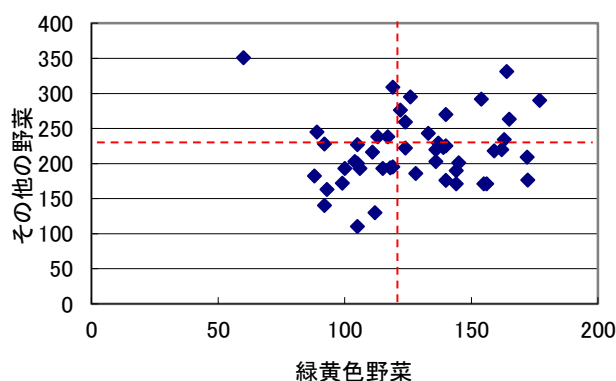
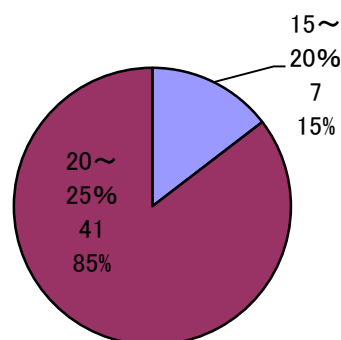
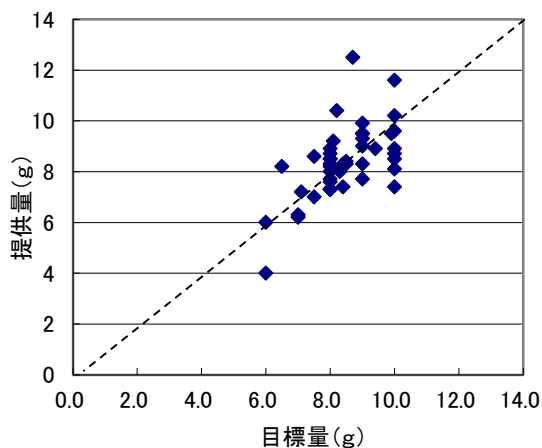


図4－脂肪エネルギー(%)



- ・野菜提供量について、健常人の目標とされる350g(緑黄色野菜120g以上、その他の野菜230g以上)に照らし、不足している施設があった。
- ・脂質エネルギー%は、目標値である20～25%の範囲の施設が全体の85%であったが、20%未満の施設もあった。

図5 食塩量(g) ※提供量は実施量として報告された値



- ・食塩摂取目標量が8gを超えた値を設定していた施設は60%であった。
- ・食塩提供量(g)が設定された目標量を上回る施設は38%であった。

### 3 栄養指導の状況

図6 (入院)個別栄養指導(回数/年)

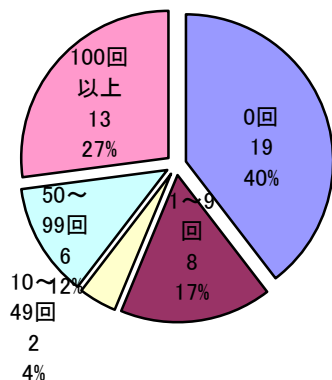
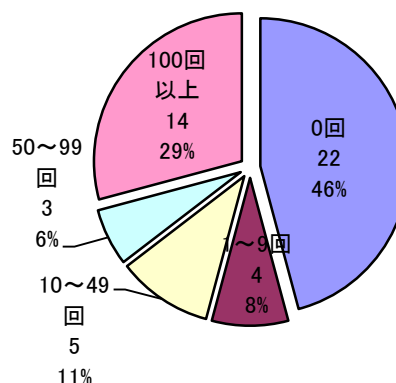


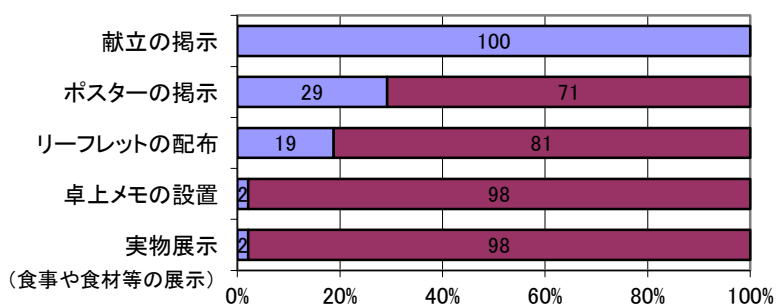
図7 (外来)個別栄養指導(回数/年)



- ・入院患者に対する個別栄養指導について、実施されていない施設は40%であった。一方で、年間100回以上実施している施設は27%であった。
- ・外来患者に対する個別栄養指導について、実施されていない施設は46%であった。一方で、年間100回以上実施している施設は29%であった。
- ・訪問栄養指導(個別)を実施している施設は1箇所(2%)であった。

### 4 栄養情報の提供

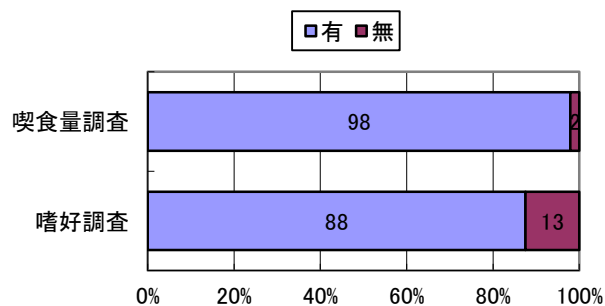
図8 栄養情報の提供



- ・献立の掲示は100%の施設で実施されていた。
- ・献立に栄養価が記載されている施設は81%であった。
- ・栄養情報の提供について、最も多かったのはポスターの掲示で29%であった。

## 5 給食提供の評価

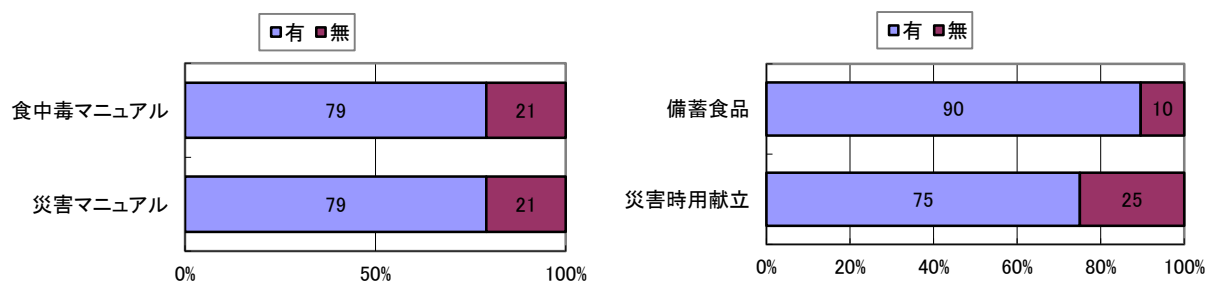
図9－給食の評価



- ・ 咀嚼量調査は98%の施設で実施されていた。
- ・ 嗜好調査は88%の施設で実施されていた。

## 6 健康危機管理体制について

図10－健康危機管理体制



- ・ 施設の食中毒マニュアルと災害マニュアルを有する施設は79%と同数(施設は一致しない)であった。
- ・ 備蓄食品は90%の施設で有していた。一方、有していない施設は10%(5施設)あった。  
また、備蓄食品の保有日数は全体の40%の施設で3日分であった(3日分以上所有する施設は無)。
- ・ 災害時用献立を有する施設は75%であった(備蓄食品を有する施設の84%が献立を有する)。